

南会津町の湿原を守る会だより

第十二号

◆駒止高原癒しの森づくり交流促進事業へ主体的に協力

●平成29年度の主な事業は右記事業への主体的な協力でした。平成26年に実行委員会が組織され、湿原周囲のブナ植栽への環境調査・自然保護ボランティア養成講座・ブナ苗確保・植樹等に関係団体と実施した事業です。当会では主にブナ植栽についての苗の確保・植樹に主に参加協力しました。

●この事業の最後の植樹は、平成27年の関東東北豪雨の影響で延期され、29年度に実施されました。植樹は広域に参加者を募集しました。植樹当日の10月22日は再びの台風。安全を考慮しやむなく中止となり、10月31日、関係者で漸く実施する事ができました。小雪の舞う中の植樹、お疲れ様でした。最後の植樹までには、農学や地学に関係する大学の協力もあり、会員や関係者はブナの植栽や生育について貴重な勉強をさせて頂きました。今後はブナの生育を見守り観察を行い、過程と成果を地域そして世界へ発信していきます。今後の観察会や調査・発表などへの参加をお願い致します。



10月19日苗の採取



10月31日
小雪が舞う中の植樹



ブナ林の遊歩道



◆平成28年6月より、教育委員会に協力いただき、湿原出口近くのブナ林の調査を行いました。平成29年、この広大な素晴らしいブナ林の中を歩いていただき環境学習に活用しようと、森林環境税を活用し遊歩道の一部が設置されました。この事業は当会が提案し、南会津町農林課が担当しました。今後は遊歩道の活用について検討が行われます。当会では今後の延長や活用について提案を行い、特に環境学習の場としての活用方法を皆様と検討したいと考えています。

駒止湿原木道修繕

6月19日実施 20人が参加。東北電力田島営業所からも4人参加いただき大谷地出口から「すのこ」を運搬し木道の傷んでいる場所を中心に敷きました。細かい調整は大工さんが行い固定しました。



新潟 新潟 研修&散策 たきがしら湿原

◆7月8日実施 たきがしら湿原は人工的に作られた湿原であり、全国でも数例しかない湿原。担当者が準備したスライドで特徴などを学習。住人が移住し人が住まなくなった田圃を開拓して湿原ができる事を知り、担当者の熱心な手入れを知りました。



外来種駆除作業

◆7月13日(木) だいくらスキー場へ集合し、南郷側より入山。2班に分かれ、駐車場より白樺谷地入口までの農道と農道沿いで行いました。ヒメシオン、ヘラオオバコ、ブタクサ、イタジハギ、オオマツヨイグサ、を中心に除去。

◆駒止湿原アクセス道路情報

南郷側は28年度で工事が完了。針生側は30年度も工事が行われます。南郷側からも工事が行われる為、30年度も自家用車の乗り入れは禁止されます。

◆30年度もシャトルバスにより(土)・(日)・(祝日)に入山が可能となります。平日は検討中だそうです。

○駒止湿原フレミアムシャトルバス バス代2,500円 田島駅発10時、だいくらスキー場を経由し、南郷側より入山。案内の会による案内付で散策。予約必要

○予約 『みなみやま観光』へ0241-62-2250 湿原は

29年度は土日のみみやま観光が運行する観光バスで南郷側より湿原へ入ることが出来ました。湿原はいつも通りにワタスゲやニッコウキスゲが咲いていました。しかし、ニッコウキスゲの蕾やミズバシショウの葉がシカ食害にあっていると思われるものも数本確認しました。シカについては福島大学や、専門家が湿原を調査しています。

編集後記 ●ここ数年、台風の影響で道路や河川が甚大な被害を受け、何か所もの地域で復旧工事が行われています。館岩川や檜沢川の工事現場では河川が広くなり景色がだいぶ変わりましたが、田圃や山の風景は変わり無くほっとしています。●今年4月の桜ウォークで台湾のお客様とお会いしました。「堤防を歩きました。川の水がきれいですねー。山の木が沢山あり、自然がそのままです。素晴らしい」と話してくれました。駒止湿原をはじめ、自然と歴史ある神社やお寺など、貴重な文化を自信をもって紹介できるように、勉強しなければ！と改めて感じました。●5月4日にはお隣の昭和村旧喰丸小学校へお邪魔しました。校舎がリニューアルされた古いのに新しい！校舎を訪れた双子の方から昔は110人いた時がある！とお聞きし昔を懐かしみ元気をいただきました。湿原や山でも多くの人と出会い元気になる事間違いなし！今年度も旬な情報を皆様へお届けできるよう取材させて頂きます。

平成30年5月15日 発行 事務局 阿部徳子



<https://minamiaizu-shitsugen.jimdo.com/>

南会津町の湿原を守る会 で検索

会だより、ガイドブック概要、活動写真のほか、事業計画など掲載